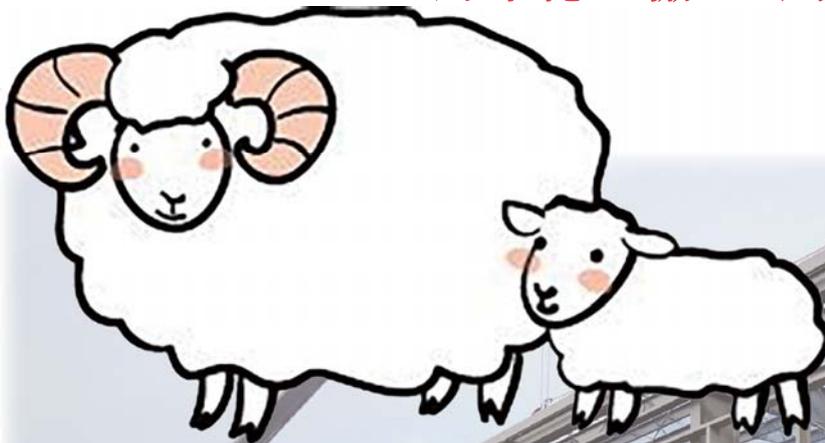


【ものづくり 人づくり 地域づくり】

# 賀春 2015

3月本部・配送センター完成、4月引越  
5月物流センター稼働  
6月常総生協 40 周年・総代会



2014 年 12 月末の様子

## 新春！みそづくり会を各地で開催します！

■ 現在、以下の会場が決定しています ■

※今後、開催会場は追加されます。後日配布されるお知らせをご確認ください。

- 1/17 (土) つくばみらい・陽光台コミュニティセンター
- 1/24 (土) 守谷・高野公民館
- 1/31 (土) つくば・小野川交流センター
- 2/07 (土) 我孫子・我孫子南近隣センター
- 同日 松戸・小金原市民センター
- 2/14 (土) 牛久・生涯学習センター
- 同日 取手・ゆうあいプラザ

※各会場、10:00～12:00 の開催です。



今昔に言い継がれてきた「三つ子の魂」。人づくりの基本は体の記憶にあった。

物事を織り成す善し悪しの判断は、寄せては返す波のように、何度も何度も繰り返し見せて悟らせ語り続けてきた。それらは「体幹に棲むがごとし母心」となり、記憶の小さな居場所に寄生し続けた。何かにつけて思い出すことがその一つだとする思いに駆られます。とうの昔、資本力の大小強弱が富の象徴であるかのように舵は切られていた。

それでも、小さな世には人づくりが成る暮らしがあった。「おはよう!」「こんにちは!」「おやすみ!」の小さな習慣が、知らぬ間に心を肌で感じる物差しとなり、人と人の向き合う場所と思いやりの心を作ってきた。見るからの一人一人が個性に満ちた大切があることを知っていた。命の歴史を辿って産まれてこの方、大切が分かる子にと、呪文の如く云十年の暇を唸らせて人の営みを意図してきた私たちが居た。

ところで、福島は終わらず。原子力発電は絶対に安心などは論外である。それら寸分の国民健在を賭けた選挙戦は、表向きは最低投票率に散り、人智なし主体なき政治は勢いを見る。科学的見地を強調する施策連打は暮らしにおいてもその通りである。命の体細胞細分化でなく眼前の医食同源を思う私たちでありたい。

今、この時代に、信じがたいかの子どもたちが貧困に喘ぐ社会がある。面倒事はスルーし、動画が賑わせる豊かな暮らしは、経済の罨。思う壺が待ち受ける。「お腹が空いた」と言えば応えてくれる安心が欲しい。顔を合わせてうんうん、旨い!美味しい!と食べた思い出は育ちそのものである。ご飯がうまい。上手い話、上手いこと言うな、上手汁…ご飯は連鎖の文化をも生み出してきた。



子どもは日々繰り返されることで自然の摂理を学ぶ。何がどうしてどうなっていくか。こうした時は小声で、の雲行きまでも体得して行く。トイレ習慣もそう。

「トイレトペーパーは65cmで使おうね。折り畳んでこうして・・・」。そのことは自分の体の構造や仕組みも知ることになる。この65cmはね、ほらっ!腕の長さよ・・・と。具体的実践の一つ事がさらに感覚を磨く。こうした小さな進歩が育ちの基礎となる。日々に食い込む、それらこれらが身体から紡ぎ出されていく。将来への力量の拠点はこちら。自ずと意図せず、何気ない躰に、親の願う先があります。

政府は必要とみるや、その場を上手く演出して通る。スキンシップの大切を学ばせておきながら、出産子育て介護、人生を産業と捉える。総務省労働力調査は生産年齢15-64歳で、働く女性の就業率は63%と過去最高を示しています。それらは外で稼ぐ貨幣のみの足し算であり、自炊による健康作りや家事労働による内なる利益産出は数えずにある。

人と人が繋がって成る協同の諸々に自分育ちを見つつ、人育ちの基本を抜いた社会繁栄、命の重みが目減りする時世の重みを思います。原発もネットによる社会悪も操作不能にあります。人智の防備役立たず域の増大に拍車がかかりますが、コソコソの人の手でしか為せない常総生協ならではの実りを見つけて参りましょう。

どうぞ、本年もご一緒にをよろしく願い申し上げます。

理事長 村井和美

## 弁護士たちが作った脱原発を呼びかける映画が完成

東海第2原発差止訴訟団、常総生協・保健生協らが呼びかけてひたちなか市で開催します。

## 1/31 映画「日本と原発」上映会

海渡弁護士講演会「私たちは原発と暮らして幸せですか」

## 「日本と原発」上映会&

海渡雄一弁護士 (映画「日本と原発」監督)  
講演会『私たちは原発と暮らして幸せですか?』



映画  
**「日本と原発」**

私たちは原発で幸せですか?

\*\*\* 河合 弘之 初監督作品

脱原発裁判の先頭に立つ弁護士が裁判闘争の原野を打撃するために  
あえて後に残る日本の原発のすべて!

\*\*\* 河合弘之 \*\*\* 海渡雄一(弁護士) \*\*\* 監督 河合弘之

なぜ、弁護士がドキュメンタリー映画を  
作らねばならなかったのか?



伝えたいのは隠された真実

丸2年の歳月をついやし  
自分の眼で、耳で確かめた。



3. 11. そのとき福島で  
何がおきたのか?  
そのとき人々は? その後の日本は?  
私たちのしあわせは...?

弁護士ドキュメンタリー  
弁護士ならではの視点でつづられる  
映画『日本と原発』

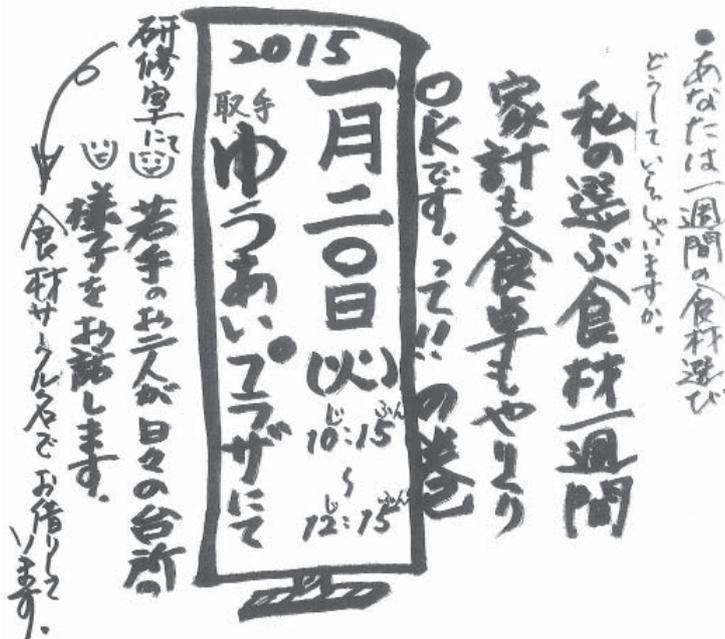
映画とあわせて  
海渡弁護士の講演をお聞き下さい

とき 2015年1月31日(土) 14:00 ~ 第1回 16:30 ~ 海渡弁護士講演会 18:00 ~ 第2回  
ところ ワークプラザ勝田 一般 1,000円 (学生 500円)

生協では12時発で守谷からバスで乗り合わせで参加予定。  
ごいっしょできる方は生協までご連絡を!

## 【私の選ぶ食材1週間 家計も食卓もやりくりOK!】

## 若手組合員お二人に「生協利用の食卓揃えと暮らしぶり」 を聞かせて頂きます! (1/20 取手ゆうあいプラザ)



お話しの主は、幼子三人と小学生男子一人のお母さん登場!  
生協は?の質問には  
★「頼みの綱です。日々のやりくりは生協食材で乗り切っています。これしかない!と決めたらそれでやり抜く」  
★「食材は残らず使い切りしてます。生協の味加減、子どもも結構大人味で大丈夫。助かってます」

若手組合員の「生協利用の食卓揃えと暮らしぶり」

どんなお話が飛び出すのでしょうか。ご一緒談義の場したいと思います。お友達もぜひお誘いしてどうぞ。ぜひお出かけ下さい。お待ちしております。

会場「取手ゆうあいプラザ」(働く婦人の家) 取手市白山5丁目1-1 国道294号線沿い

キトリ

## 1//20 (火) 「食材やいくり談」参加申込書

コース名 \_\_\_\_\_ 班名 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_ ご連絡先 \_\_\_\_\_

# 手作りみそ月間スタート 目標 みそづくり人口700名! 1,600kg!!



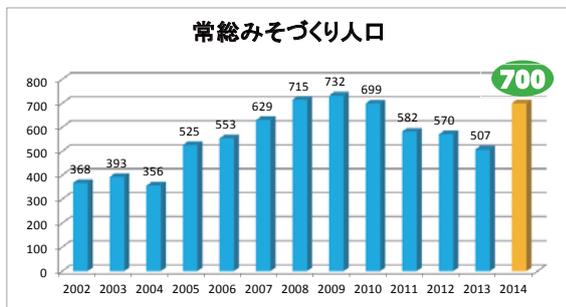
## 今年も「みそづくり」の季節がやってきました!

すっかりお馴染みになった新春恒例『みそづくり』!  
「地元大豆を地元の消費者がみそにする。こうして自分たちで地域の畑を守る」と始めた取り組みも20年を越えました。毎年多くの組合員がみそづくりに参加し、各地区ではみそ講習会も毎年開催されるようになりました(詳しい日程は表紙の日程表をご確認ください)。



国内に出回っている味噌・醤油に使われる大豆の約9割は輸入大豆です(農水省・平成24年資料より)。しかも、政府からの補助があって辛うじて生産が続けられている状況です。更にはTPP締結も時間の問題です。「これ以上、私たちの食を他人任せにするのはやめにしよう」、「毎日のみそ汁の味噌くらいは自分たちの大豆で賄おう」と始まった大豆自給・手作りみそ運動。ぜひ御一緒しませんか?

★今回のカタログ(1月3回)16ページは「手作りみそ素材特集」です。



## 目標 みそづくり人口700人! 大豆消費量1,600kg!

年々伸びていたみそ作り人口、大豆消費量は原発事故による放射能汚染の影響もあり昨年、一昨年と数字を落とす結果となりました。今年ももう一度700人、1,600kgを目指します!

また先日のニュースレター(1月2回)で26年産大豆の栽培状況を説明しましたが、不作のため今年度は備蓄をしていた25年産大豆の供給で対応させていただきます。最新の放射能検査結果は下記の通りで、昨年仕込んだみその出来上がりでも0.9ベクレル/kgとなっております。

### 1月3回大豆注文

**440** 1kg 702円  
**441** 2kg 特 1,350円

### 最新放射能検査結果 (検査日 H26.12.28/常総生協 Ge半導体検出器 7200秒)

- 大豆(25年産) 5.8ベクレル/kg (Cs137:4.2, Cs134:1.6)  
※煮大豆にした場合の除染は現在調査中ですが、昨年は乾豆6.0Bq→煮大豆0.9Bqでした。
- 昨年仕込んだみそ 0.9ベクレル/kg (Cs137:0.9, Cs134:N.D.)

## 「大豆基金増資」1口300円へのご協力をお願いいたします。

収穫が天候に左右されやすい大豆。過去の教訓から組合員より「基金」を募り「備蓄」を行っています。

- 新しい組合員、ならびに今年新たに「みそづくり」に挑戦される組合員には大豆のご注文と合わせて下記「大豆増資」へのご協力をよろしくお願いいたします。
- 大豆1kgに対して1口300円の増資をお願いしております。大豆の備蓄資金+大豆生産共済掛け金(生産者との折半)として活用させていただきます。

- 「増資」に加算される形になりますので、通常の出資金に加算され脱退時に返却されます。
- 大豆増資に協力して頂いた組合員には、不作で大豆が不足した時には優先的に大豆を供給いたします。
- すでに大豆基金増資に参加して下さった組合員でも、追加増資できます。ぜひ今年もご協力ください!

## 【大豆基金(増資)申し込み書】 (注文書6桁欄にも「500301」と記入し、数量欄に「口数」をご記入ください)

コース名 \_\_\_\_\_ 班名 \_\_\_\_\_ 組合員NO. \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_

増資口数 \_\_\_\_\_ 口 \_\_\_\_\_ 円 (1kgの大豆注文に対して1口300円が目安)  
(※注文書による増資番号「500301」は味噌用大豆の企画がある3月1回まで受け付けています)